

1. 各グループの基本特性

【継続無子家族】、【継続一人っ子家族】の結婚年齢は【複数子家族】より高い。

結婚時の年齢は2歳ほどの開きがある。(第1子出産年齢は3歳の開きがある)

世帯年収をみると、【継続無子家族】は高年収である。

【複数子家族】の男性との間には50万ほどの差がある。

子どもの有無、子ども数の多寡は家計のゆとりに大きく影響。【継続無子家族】の「ゆとりあり」比率は【複数子家族】の1.7倍から2倍にも達する。月間小遣いも子ども数による差が顕著。

子どもにかかる経費に関しては、子ども数による「かかりすぎ」意識にさほど大きな違いはないが、【継続一人っ子家族】の男性の子どもへの投資意欲は【複数子家族】の男性に比べ希薄。

職業をみると、【継続独身】の男性には常勤(正社員・正職員)として働いている人が相対的に少ない。このため労働時間は他層に比べ短く、また生活が「仕事中心」とする人も相対的に少ない。

図表1-1. 各グループの基本特性(基数:全体)各グループN=150

注)結婚年齢は 継続独身男性 n=20 同女性n=32	平均年齢				年収・小遣い			年収増減		家 計の ゆとり	子どもの経費	
	本人 年齢	配偶 者 年齢	結 婚 年 齢	第 一 出 産 年 齢	(世 帯 万 年 円 収)	(本 人 万 年 円 収)	(月 間 小 遣 い)	増 加	減 少		か か り す ぎ る	増 や し た い
継続独身男性	39.7		26.9	26.5		405	5.8	19.3	39.3	28.7		
継続無子 家族男性	40.6	38.1	30.9		749	570	4.2	30.7	43.3	35.3		
継続一人っ子 家族男性	42.3	40.6	29.3	32.1	668	561	3.3	22.7	48.6	25.3	23.3	26.7
複数子 家族男性	41.8	40.5	27.1	29.0	699	552	3.3	22.7	47.4	20.7	27.3	50.0
継続独身女性	36.6		24.3	26.4		241	4.6	20.7	34.0	28.7		
継続無子 家族女性	39.7	42.4	27.9		732	213	3.4	19.3	52.0	52.7		
継続一人っ子 家族女性	41.3	44.3	27.0	30.1	699	135	2.1	18.6	48.6	28.0	33.3	36.7
複数子 家族女性	41.2	43.9	25.3	27.0	722	160	1.9	18.0	48.6	25.3	37.3	35.3

	世 帯 働 き 率	正社員・正職員率				平均労働時間		有給非消化率 (全く/ほとんど)		仕事vs 私生活 仕事 中心 派 率	仕事 充 実 率
		本 人 勤 労 者 数	本 人 %	配 偶 者 勤 労 者 数	配 偶 者 %	本 人	配 偶 者	本 人	配 偶 者		
継続独身男性	%	(n=103)	63.1		%	8.8		57.3		52.3	63.0
継続無子 家族男性	62.0	(n=141)	70.9	(n=91)	41.8	9.6	7.4	59.1	45.5	60.8	73.6
継続一人っ子 家族男性	51.3	(n=138)	79.7	(n=75)	28.0	9.5	6.5	54.8	47.2	58.5	62.1
複数子 家族男性	59.3	(n=141)	77.3	(n=90)	34.4	9.3	6.7	66.5	57.2	68.8	66.6
継続独身女性		(n=121)	43.0			7.6	0.0	53.5	0.0	55.2	61.6
継続無子 家族女性	62.7	(n=95)	31.6	(n=131)	81.7	6.9	9.8	50.0	62.8	39.6	69.5
継続一人っ子 家族女性	46.7	(n=70)	11.4	(n=133)	77.4	5.9	9.8	41.9	56.9	34.7	65.7
複数子 家族女性	66.0	(n=99)	18.2	(n=133)	78.9	6.0	9.9	44.7	60.0	26.2	70.7